

農薬残留分析における 標準溶液や試薬類の管理に 関するアンケート集計結果

第35回日本農薬学会・農薬残留分析研究会

調査集計担当：

一般財団法人残留農薬研究所

宮本彩、飯島和昭

2012.11.8-9 檜原ロイヤルホテル

はじめに

各分析機関からのアンケートにより
「農薬残留分析における標準溶液や試薬類の
管理に関する情報」を集計して、参加者各位の
分析実務の質的向上に資する情報を提供



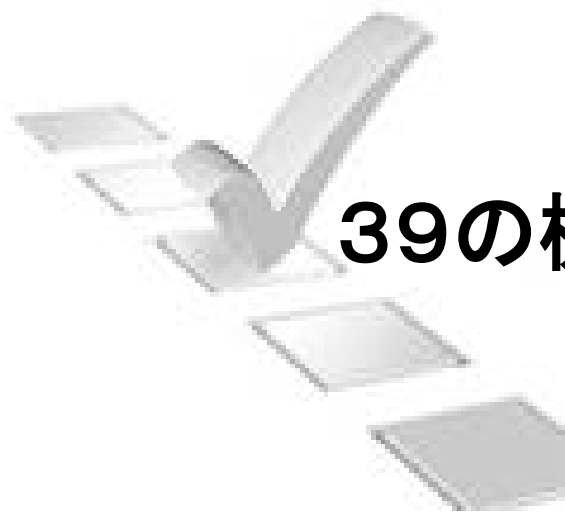
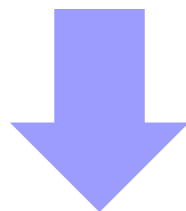
アンケート内容

1. 所属
2. 貴分析機関における主な分析内容
3. 複数の標準品が入手可能な場合の優先事項
4. 標準品の有効期限について
5. 標準溶液の管理について*
6. 調製溶媒や試薬類について*
7. 標準溶液や試薬類の管理に関する情報提供
(意見等のコメント)

* 試薬ラベル等に記載されている有効期限等は順守を前提とし、
各分析機関で調製した試薬類のみを対象

集計結果

日本農薬学会・農薬残留分析研究会
参加者(機関)を対象にアンケート調査を実施

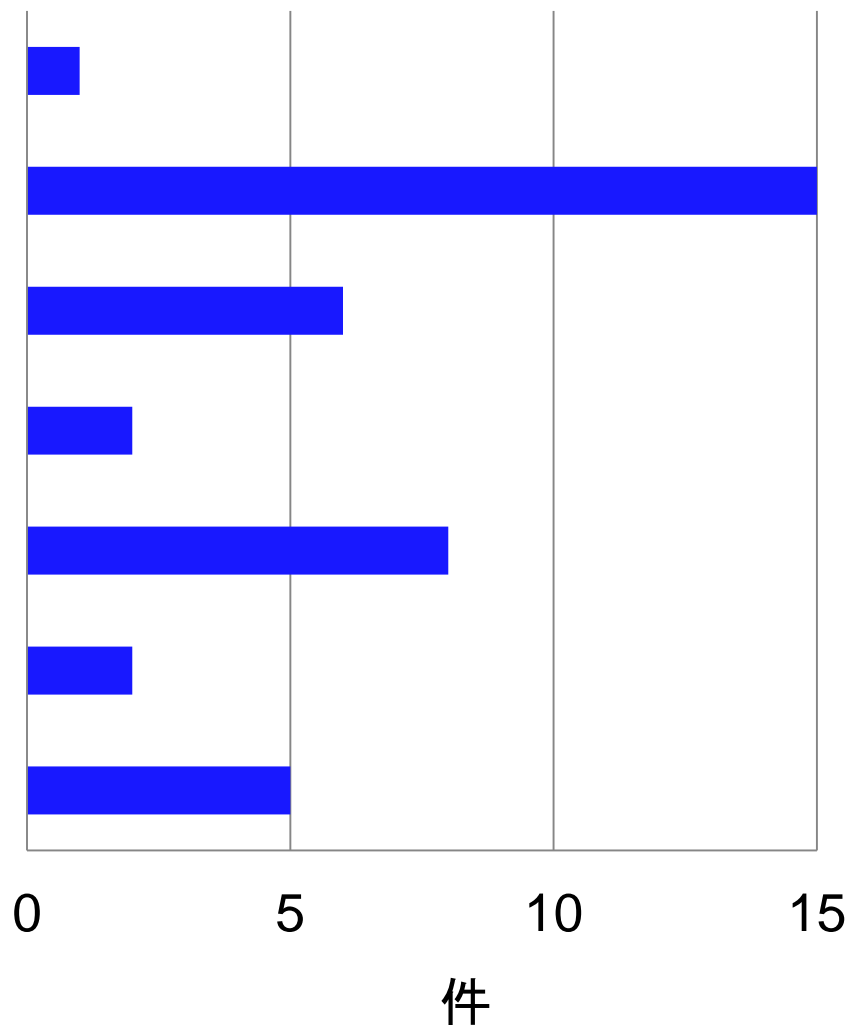


39の機関より回答

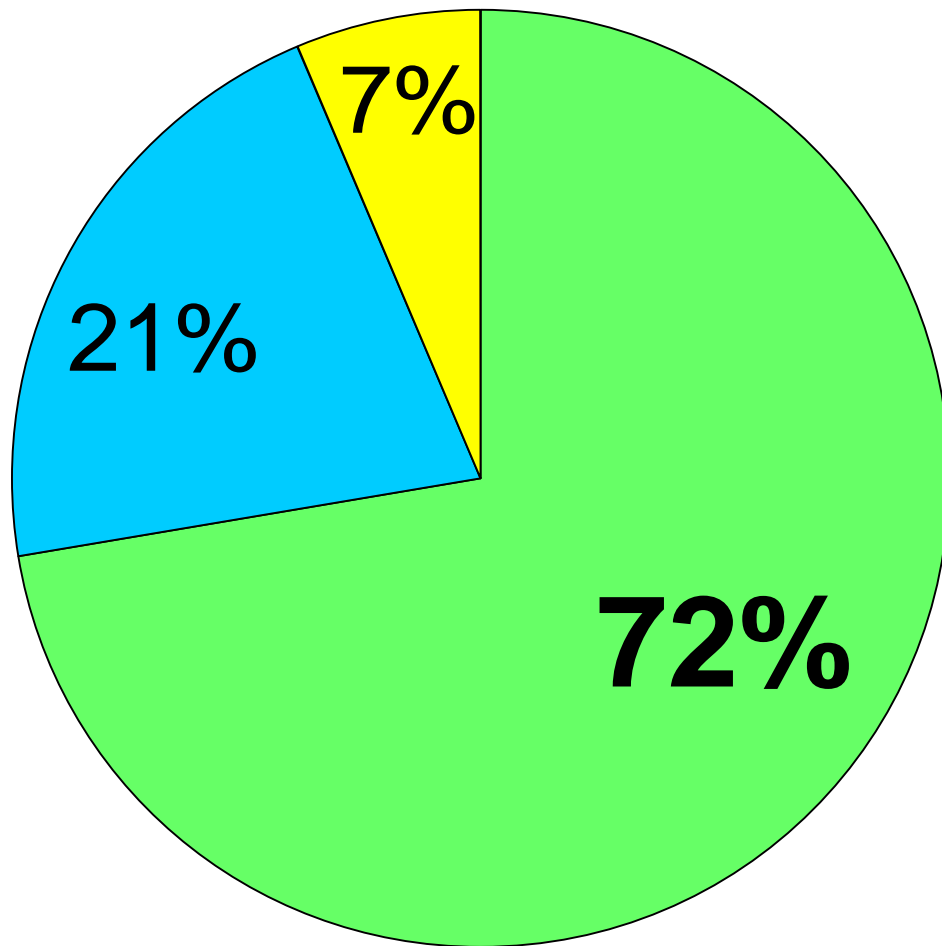
1.所属

回答数:39

官公庁
公立農業試験場
公立衛生試験所・保健所
農薬会社
分析受託機関
機器製造・販売会社
その他



2. 主な分析内容

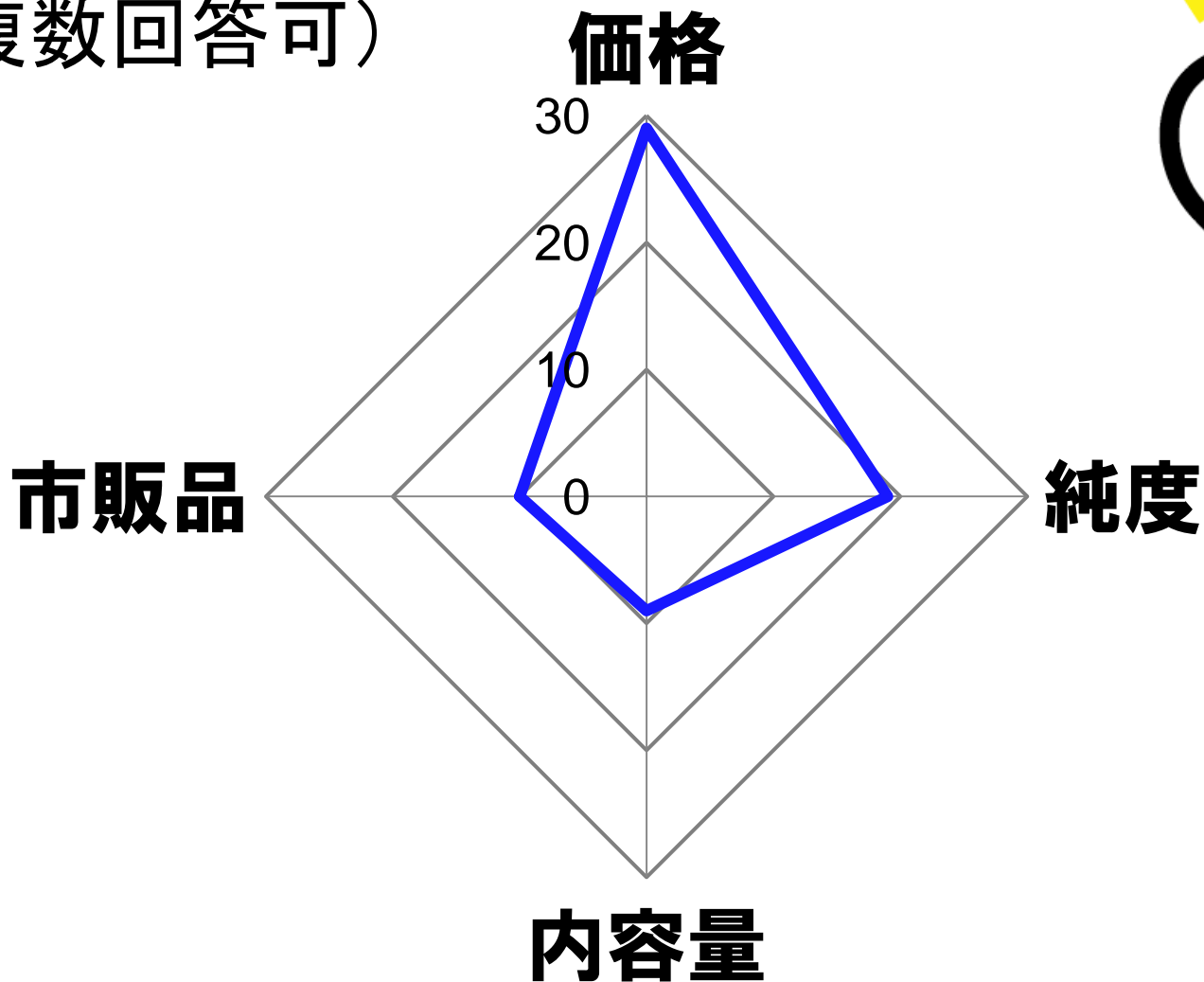


- 食品・農作物
- 環境試料(土壌・水)
- その他・生薬
・工場製品



3.購入時に優先する項目

(複数回答可)



3.購入時に優先する項目

1位 価格(29)

2位 純度(19)

3位 市販品を活用(10)

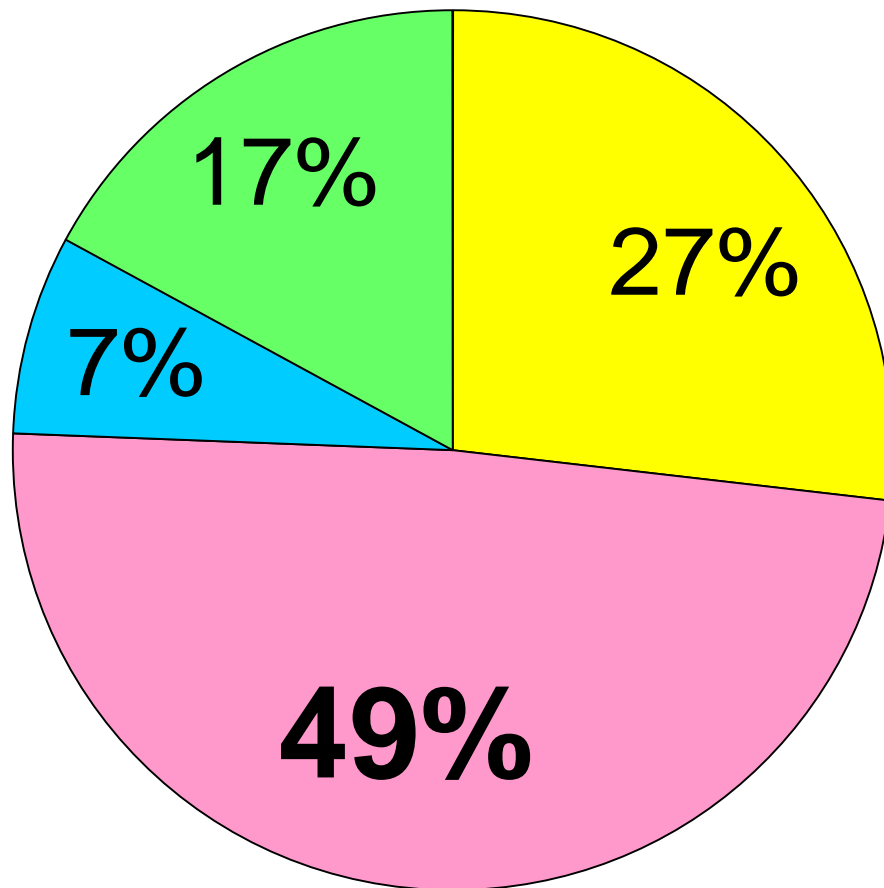
4位 内容量(9)



その他...

- ・使用期限の長いもの
- ・容器形状
- ・納期

4.標準品の有効期限について

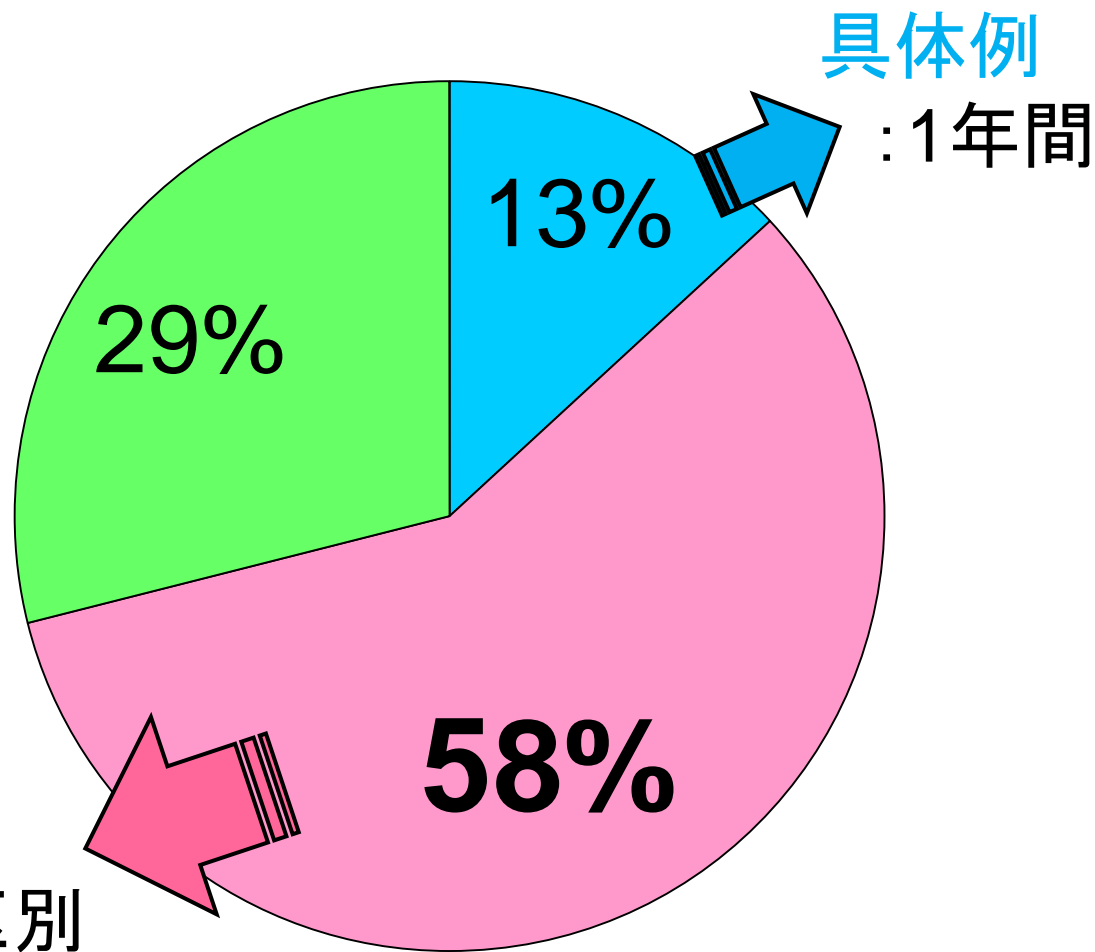


- 未開封時の期限
- 使用回数等に関係なく
- 調製溶液を含めた期限
- 設定せず



5.標準溶液の管理について

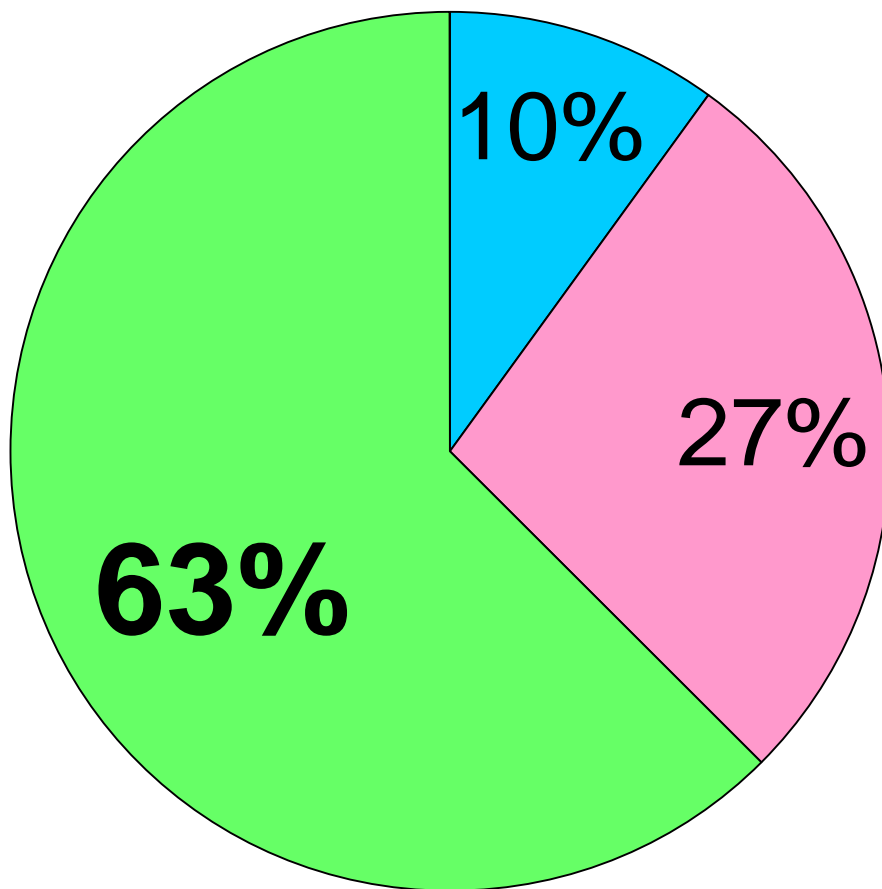
- 一律設定
- 分類設定
- 共通設定なし



内訳

- ・保存溶液と希釈溶液に区別
- ・個別と混合溶液に区別
- etc. . . .

6.調製溶媒や試薬類について



- 一律設定
- 分類設定
- 共通設定なし



7.意見等コメント

■ 試薬メーカーへの要望

- ・安定性の知見の情報提供
- ・販売方法について(特に量)
- ・有効期限の記載のないものについての取り扱い

■ 困っていること

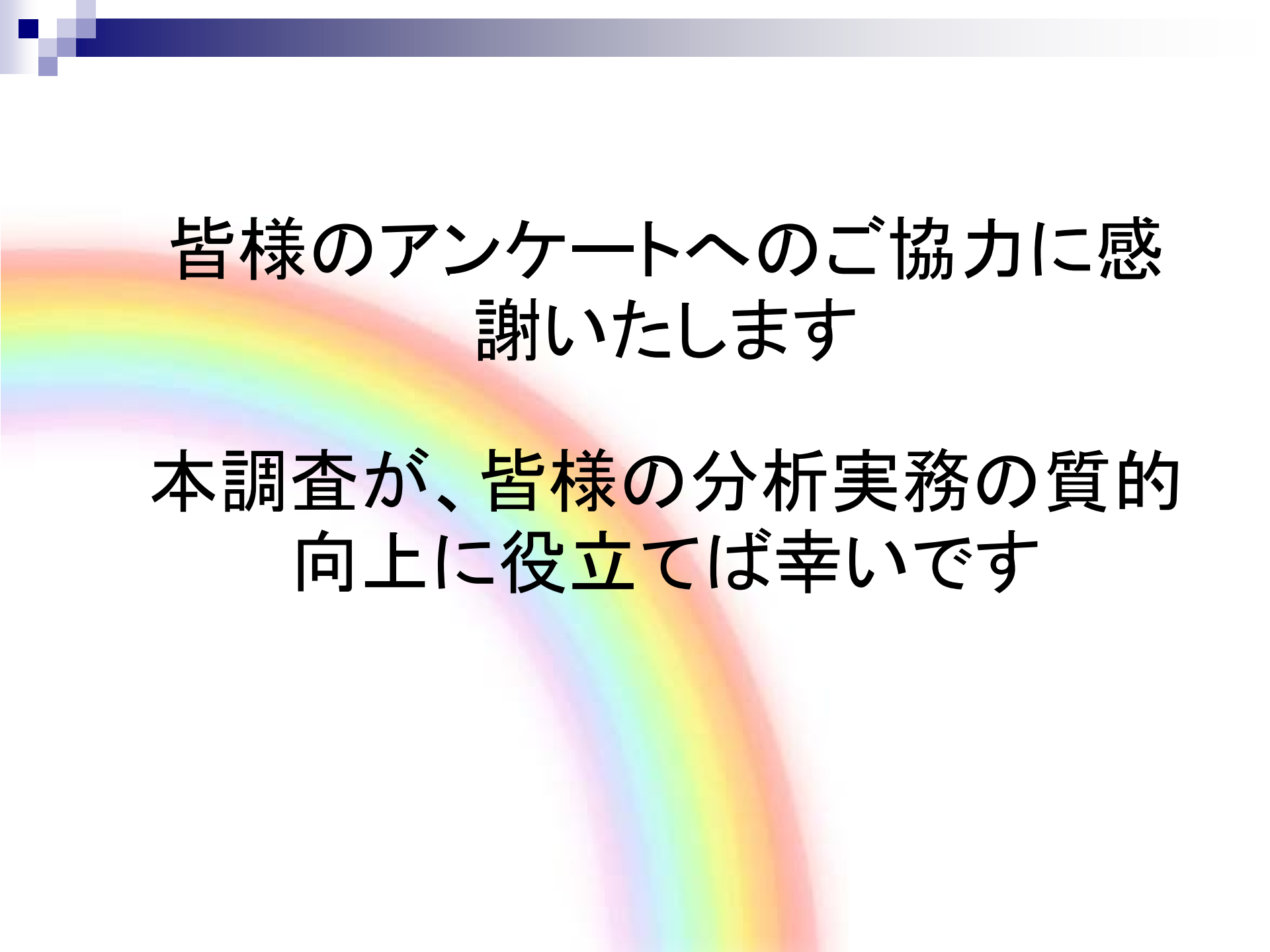
- ・購入経費(更新等による)
- ・管理方法(在庫管理や情報更新)
- ・有効期限の無いものに対して、その定め方

■ 工夫していること

- ・保管方法についての記載
- ・在庫管理についての記載

まとめ

- 購入時の優先項目は、「価格」が最も重視されている。
- 標準品の有効期限は、使用回数に関係なく設定している機関が多い。
- 標準溶液の有効期限は、過半数が分類設定し、その中で保存溶液と希釈溶液で分類している機関が多い。
- 調製溶媒や試薬類の管理については、共通の有効期限を設定していない機関が6割程度。各々の基準で分類している傾向がみられた。
- 意見等のコメントでは、「標準品の購入経費が負担である」「管理方法について困っている」といった共通する意見が寄せられた。



皆様のアンケートへのご協力に感謝いたします

本調査が、皆様の分析実務の質的向上に役立てば幸いです